

3/25
2007年 第939号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
定価・年間10,000円 月1,000円
1977年5月23日第三種郵便物認可



「歯科も、医科も一緒なんです」 「日常診療経験交流会」にご参加ください

「成人」、「老人」、「日常診療」の4つの分科会とポスターセッション

当日の午前は、「子ども」も、「成人」、「老人」、「日常診療」の4つの分科会とポスターセッション

その間に医療従事者の融合が見いだされます。

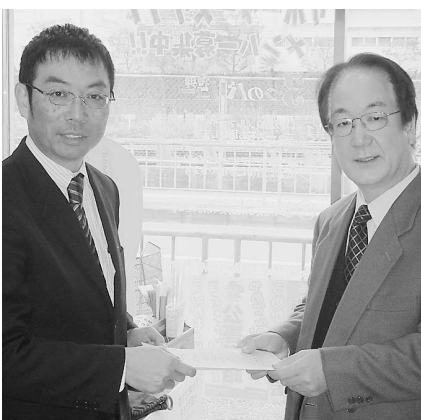
環境も異なります。唯一の共通点は、このものたちがヒトに栄養価の高い食材を供給してくれることとあります。

「一緒なんです」と訴えています。「歯科も、医科も一緒なんです」の会員、患者そして住民への熱い思いを「鹿も、鳥獣も一緒なんです」と比較して表現しています。

シカ科哺乳動物のシカと軟体動物のイカは、分類学上も形態学上も、そして生態環境も異なります。唯一の共通点は、このものたちがヒトに栄養価の高い食材を供給してくれることとあります。

案内チラシのキャッチコピーが「しかも、イカも一緒なんです」と訴えています。「歯科も、医科も一緒なんです」の会員、患者そして住民への熱い思いを「鹿も、鳥獣も一緒なんです」と比較して表現しています。

山上紘志副理事長が呼びかけ



岩根良氏(左)と推薦決議した平川光彦地区責任者=吹田市内



協定書に調印する永井氏(右)=1日、八尾市内

吹田市長選挙に「市民派市長をつくる会」から立候補する岩根良氏の推薦を決めた。

現市長は市独自の医療福祉施策を「財政健全化」のもとに切り捨て、その一方で操車場の跡地計画

に総事業費1千億円、公園にお城をつくるのに15億円など、財政効率も考えず、市民が望んでいないハコモノづくりを進める計画を立てている。

同地区は、各候補者へのアンケートの結果、社会保障の充実など協会の政策に一致する岩根氏を推薦することを決めた。

北大阪地区 岩根良氏の推薦を決定 社会保障の充実実現へ向け 吹田市長選挙

政策に一致する岩根氏を推薦することを決めた。岩根氏は、①市民が安心して医療を受けることができるように、保険料減免等を市民のくらしの実態に応じて実施するとともに、短期保険証・資格証明書は発行しない。

今号新聞とあわせてチラシをお届け



裏面の演題応募用紙でお申し込みください

を予定しています。現在演題を募集中で、日常診療の研究や工夫を演題として発表していただき、会員やスタッフとともにその内容を共有いたしましょう。午後は、シンポジウムで4人の演者から

生活習慣病やメタボリックシンドローム、在宅医療での嚥下機能、子どもの食育について講演していただきます。

医療制度改革関連法のもとに進められている国民皆保険制度の加速度的

な空洞化の流れを大きく変えるために、生きいきとした未来をみつめる地域医療がますます大切になっていきます。集いの成功に向け、会員・スタッフのご協力とご参加を心から訴えます。

東大阪・八尾・柏原地区 永井きみ子氏と政策協定 歯科医療体制の充実を目指す 東大阪・八尾・柏原地区

東大阪・八尾・柏原地区は、八尾市長選挙に立候補している現市議会議員の永井きみ子候補の推薦を決めた。

同地区で推薦を決めるに当たり、八尾の医療を充実させる立場から全予定候補者5人にアンケートを実施、4人から回答があった。同市長選挙の争点は、①政府が打ち出した住民犠牲の行政改革路線に追随し、福祉・教育・医療の切り捨てなど市の公的責任を後退させる現市政の継続か、憲法と地方自治の精神を生かす、福祉・くらしを最優先する新しい市政を実現するか、②部落開放同盟と癒着し、「人権」の名のもとに特別扱いをし、不正・腐敗事件の温床をつくってきた現市政の継続か、同和行政を完全終結させる新しい市政の実現か――が挙げられる。

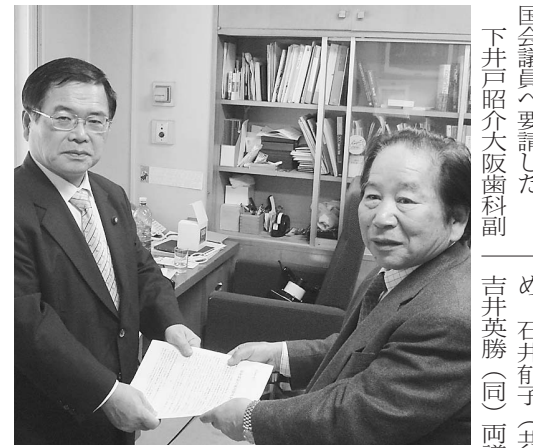
回答をもとに検討した結果、市民の立場からの観点で国保料軽減や短期保険証・資格証明書の発行削減や混合診療反対、憲法25条を基に社会保障を重んじる意思を表明する候補者を推薦しています。

同地区は、財政破綻が懸念される吹田市政を交えよつと立候補した岩根氏を市長にして、全国一の「健康福祉都市」「吹田」の実現を目指す。

同地区は、各候補者へのアンケートの結果、社会保障の充実など協会の政策に一致する岩根氏を推薦することを決めた。

同地区は、各候補者へのアンケートの結果、社会保障の充実など協会の政策に一致する岩根氏を推薦することを決めた。

同地区は、各候補者へのアンケートの結果、社会保障の充実など協会の政策に一致する岩根氏を推薦することを決めた。



竹本直一衆議院議員(自民)に要請書をわたす下井戸副理事長=8日、議員事務所内

各議員からは、休保制度の掛金額や口数、保障内容、保険商品となった場合のデメリットについて質問が出された。協会の下井戸副理事長は、営利を目的としない共済と一般保険業との違いや、制度の廃止に追い込まれている団体の実情を示しながら「会員のための健全な共済制度に規制は必要ない。超党派の国会議員による議員立法で、業法の適用除外項目に自主共済実施団体を明記してもらいたい」と訴えた。

行動には、保団連の住江憲勇会長、共済担当理事はじめ各協会役員・事務局ら60人が参加した。

「勝ち組」と「負け組」という単純な図式で差別社会を構成し、競争原理に唯一の価値を置くことに矛盾が増大している現状を可とするか不可とするか、国民の選択に委ねられている。

休業保障 保険業法適用除外求めて 与野党の国会議員に協力を要請

協会の保団連は休業保障制度の保険業法適用除外を求めて8日、与野党国会議員へ要請した。

理事長は、大阪選出の竹本直一、川条志嘉、中山泰秀の自民党3議員はじめ、石井郁子(共産)、吉井英勝(同)両議員、

各種相談室

専門家がおこたえします

法律相談

【日時】4月2日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信弁護士

税務相談

【日時】4月18日(水)午後2時～5時
【相談者】斎藤直樹税理士

雇用相談

【日時】4月19日(木)午後2時～4時
【相談者】堀口正二社労士
相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。事前予約制で、1週間前に締め切ります。